おいしいをつくりましょ。

ときめきネットワーク
JA遠州中央

「農と食」で地域を元気に！

ときめきネットワーク

2026年
新年号
vol. 331

特集
持続可能な農業を目指す循環型農業

農で輝く人
森町の農業を通じて人とのつながりを大切に

謹賀新年

新年のごあいさつ

経営管理委員会会長
安田（やすだ） 博俊（ひろとし）

あけましておめでとうございます。

組合員および地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、当組合の各事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

２０２５年は、「大阪・関西万博」が開催され、会場には国内外から多くの来場者が訪れ、経済効果や観光振興が話題となりました。農業分野では、前年から続いた米価高騰や、世界的な抹茶需要の影響による茶価高騰などが見られた一方、社会経済情勢の変化や資材価格の高騰など、農業経営を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いた一年となりました。また、国連が定めた「国際協同組合年」として、世界的に協同組合の理念や役割が注目される中、改めて地域とのつながりの大切さを実感いたしました。

これからも農と食を通じて、組合員・地域とともに

２０２６年は、昨年４月よりスタートしたＪＡ遠州中央の３か年計画に基づき、農業の未来と地域社会の発展を見据え、元気で魅力ある農業と、組合員および地域住民の皆さまの豊かなくらしの実現に向けて、役職員一丸となって努力してまいります。

本年も、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

経営管理委員会会長	安田　博俊
代表理事理事長	山田　耕司
代表理事専務	鈴木　均
常務理事	伊藤　忠彦
常務理事	中村　永司
常勤監事	杉山　誠人
	ほか役職員一同

撮影場所…森町円田

2026
新年
VOL.331

TOKIMEKI CONTENTS

2 新年のごあいさつ

4 ふるさと瞬景

6 特集
持続可能な農業を目指す循環型農業

10 この人に聞く

12 農で輝く人

13 わッ！女性部

14 楽しい家庭菜園
どっさりキッチン

16 ときめきトピックス

18 インフォメーション

20 店舗統廃合および店舗移転のお知らせ
いきいき健康クリニック

21 定期貯金　プレミアムセレクト

22 おたより掲示板
まちがい探し

23 ときめきすまいる
編集後記

●所在地／天竜区春野町領家
●交　通／国道362号線沿い
（秋葉神社下社への分岐点入口付近）

ふるさと瞬景

秋葉大天狗の高下駄
（天竜区春野町）

秋葉神社下社の麓にたたずむ
迫力あるモニュメント
火伏の神として信仰される
秋葉三尺坊大権現が飛び立った際に
残したという高下駄の跡から
大きさを再現して作られた
高下駄には小さな天狗像が座しており
天狗伝説が息づく春野町を
象徴するオブジェとして
多くの観光客の目を惹きつけている

撮影場所／天竜区春野町領家

持続可能な農業を目指す

循環型農業

現在、世界中の企業や団体は、環境問題をテーマにさまざまな事業や活動をしていると言っても過言ではありません。特に、2015年以降は、SDGs(持続可能な17の開発目標)の登場により、環境問題はより強固なテーマとなりました。また農林水産省は2021年5月より、食料・農林水産業の生産力向上と、環境負荷の低減をイノベーションによって両立させることを目指し、「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

環境問題は農業に大きく関わっていて、土壌汚染をはじめ、環境へのさまざまな悪影響が指摘されています。また、地球温暖化の影響によりこれまでの栽培スタイルの農業を今後も続けていくことは、環境問題の視点から難しくなるかもしれません。

そのような背景から、持続可能な農業として「循環型農業」が注目されています。今回は、循環型農業に取り組むことによるメリット・デメリットや、JAが取り組んでいる具体的な事例などを紹介します。

循環型農業って?

循環型農業とは、化学肥料や農薬の使用を抑えながら、家畜の排泄物や食品残渣などを資源として活用し、自然環境への負荷を軽減しながら資源を循環させる農業システムです。この農業は、持続可能な社会の実現に向け、環境保全と食の安全に貢献します。

農産物の収穫後に残るわらや野菜くずを家畜の飼料として、その家畜の排泄物から堆肥を作り、その堆肥を農産物の栽培に利用するといった形で資源を循環させます。これにより、土壌の健康を維持し、持続的な農業生産を目指します。

メリット

- **●環境負荷の低減 ：** 化学肥料や農薬の使用を抑え、温室効果ガスの排出量を削減します。
- **●土壌の質向上 ：** 堆肥の利用により土壌が豊かになり、生物多様性の保全にもつながります。
- **●農業コストの削減 ：** 農場で発生する資源を活用することで、肥料や農薬の購入費用を削減できます。
- **●持続可能性の向上 ：** 資源の再利用を通じて、長期的に安定した農業生産を可能にします。

デメリット

- **●生産の不安定性 ：** 化学肥料や農薬に頼らないため、天候や土壌環境に収量が左右されやすく、安定した生産までに時間を要する場合があります。
- **●病害虫のリスク ：** 化学合成農薬の使用を控えるため、病害虫による被害のリスクが高まる可能性があります。
- **●知識と技術の必要性 ：** 従来の農業とは異なる専門的な知識や技術(土壌管理、堆肥作りなど)の習得が求められます。
- **●初期投資 ：** 循環型農業を始めるにあたり、初期設備の導入や資材の準備にコストがかかることがあります。

有機資源循環型農業って知ってる?

米収穫時に出る稲わらを畜産農家が回収

回収した稲わらを牛に食べさせる

排泄された牛ふんを「森の土づくりセンター」へ

堆肥が出来上がる

水田へ施してまた新しい米ができる

米農家と畜産農家が協力して、有機資源を活用した良質な堆肥生産に取り組んでいます。米収穫時に出る稲わらを地元畜産農家が自給飼料収穫機械を使って回収し、牛の餌にします。稲わらを食べた牛が排泄した牛ふんを周智郡森町にある「森の土づくりセンター」で堆肥に作り変えて、再び水田にまきます。

こうして作られた堆肥は、無駄が少なく環境にやさしい堆肥として、静岡県畜産堆肥共励会で最優秀を受賞したこともあるんですよ！

こんなこともやっている！
“水田3倍活用”

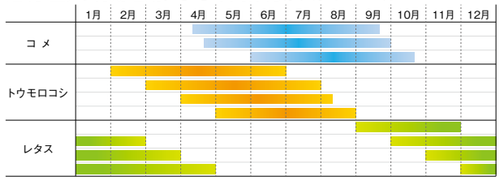
実は、JA遠州中央管内の森町で生産されているレタスやトウモロコシは、米を作る「水田」で行なわれています。これは、水田を有効活用するために生産者が考え出したもので、基本的に「レタス→トウモロコシ→米→レタス」のサイクルで作付けされています。

水田で作ることで土の中の雑菌が除かれ、連作障害※の防止につながるのが特徴です。また、1年半で3種類の作物を栽培できて生産性も上がります。この水田にも、もちろん「森の土づくりセンター」で作られた堆肥が使われています！

環境にやさしく、おいしい農産物を作りながら、生産者の農業所得向上にも役立っているんですね！

※連作障害…同じ場所で同じ作物を繰り返し栽培することで、生育不良や収量低下を引き起こす現象

畑(水田)の有効活用による年間作付けスケジュール



環境にやさしい土づくりのために

分析センターのひみつ

土壌分析の流れ

1 土の採取

生産者が分析を行なう圃場の土を採取します。
採取量は150g。必ず乾燥させて2mm以下のふるいでふるって集めます。

2 土壌分析依頼書に記入

土壌分析依頼書に、氏名や住所、作物、作型、圃場名、分析項目など必要事項を記入します。主な分析項目はPH、EC、CEC、石灰、苦土、加里、リン酸、リン酸吸収係数、腐植、硝酸態窒素、アンモニア態窒素などです。水稲の場合はケイ酸の分析も行ないます。

3 営農経済店舗へ搬入

「土壌分析依頼書」と土壌を指定の営農センター・店へ搬入し、分析結果を待ちます。分析結果は分析項目によって異なりますが、「畑必須」「水稲必須」であれば土壌到着後12～20日程度で完了します。

4 分析センターへ搬入・分析

JA職員が土壌を分析センターに搬入し、受付します。搬入前には、依頼書の記入漏れや乾燥させふるいにかけた土壌かどうかをチェックします。JA静岡経済連の専門機関に送り、分析結果を待ちます。

5 診断書の配布・指導

分析結果をもとに、分析センターで診断書を作成します。本店指導員や営農センター・店のe-commitの職員が確認を行なって、依頼主の生産者へお届けします。

6 診断書の活用

診断書を参考に、土壌改良材や元肥の施用を行ないます。

分析センターってどんなところ?

安全・安心かつ良質な農産物を生産するためには、養分・水分を供給し育てる場である土壌が重要な役割を担っています。

有機肥料だけでは、養分のバランスの乱れや病虫害への抵抗性を低下させるなどの要因になります。そこで、化学肥料に頼ることで天候に左右されず安定的に質の良い農産物が生産できます。しかし、化学肥料のやりすぎは無駄遣いであるだけでなく、土壌の性質をも変えてしまう場合や土壌や河川の水質汚染にもつながる場合があります。そのため、有機肥料と化学肥料のバランスを保ち、適切な施肥に基づく「土づくり」が必要不可欠です。

そこで、土壌分析によって土の中の養分を把握することで、土壌の状況を客観的に明らかにし、今後の管理の方針を決める基本的情報とします。

分析結果によって、改善点がある場合には、土壌養分含有量に応じた適正な施肥を提案することで農作物生産コストを削減し、土壌と河川の汚染を防ぎ環境保全に努めています。

分析センターは2009年度、園芸流通センター内に土壌と残留農薬について分析する部署として設立しました。管内の農地をより一層作物栽培に適した土壌にするためにはどうすれば良いか、農薬が適正に使用されているかどうかについて正確に分析し、診断結果に基づいて生産者の皆さんへアドバイスを行なうことで、安全・安心で環境にやさしい農産物の生産を目指しています。

土壌分析は診断書通りに改良材などを施用してもすぐに土壌が健全になるとは限りません。生産者の皆さんには継続的な分析と管理をお願いします。

皆さんご協力をお願いします！

分析センター センター長
佐々木 剛（ささき ごう）

申込みは、お近くの営農センター・店まで！

「水田3倍活用」は、かつて先輩方が考案した森町の農業を発展させるための戦略的農業で、静岡県の雪が降らない温暖な気候だからこそ実現できています。また、小さな町で栽培面積の確保が難しい条件の中でも工夫して行なっているもので、それによって森町の生産者の農業所得は安定しています。

森の土づくりセンターで作られた堆肥は、栄養分をたっぷり含み、土に混ぜると土壌内の微生物を増やし、多様化させます。微生物の働きにより、有機物の分解が促進され、植物が吸収しやすい養分が供給されていきます。その他にも、土壌の団粒構造を形成し、通気性や保水性、排水性を高めます。これにより、根が伸びやすくなり、根腐れや病気の発生を防ぐ効果もあります。

しかし、堆肥だけでは十分な養分を補えないため、私はJAが低価格で販売している「5JA粒状レタス一発」という有機化成肥料も使っています。この肥料には有機肥料が38％含まれ、その他にもCDU※1やIB※2など、持続効果の高い化成肥料が配合され、堆肥だけではカバーしきれない栄養分を補給してくれます。この堆肥と有機化成肥料の割合を調整することで、環境にやさしい農業を行ないながら農産物を安定的に生産することができています。

今後も、森町の堆肥とJAの有機化成肥料を上手に使いながら持続可能な農業の実現と、おいしい農産物の生産をしていきます。また、新しい農業に挑戦して森町をもっと盛り上げ、次世代にも技術を継承していきます。

※1　CDU…尿素とアセトアルデヒドを反応させて作られる緩効性窒素肥料。土壌中の微生物によってゆっくりと分解され、植物が利用できる形に変わるため、肥効が長く持続する。

※2　IB……イソブチリデンジウレア（IBDU）を主成分とする緩効性肥料。窒素成分をゆっくりと放出するため、植物への急激な栄養供給を防ぎ、長期間にわたって効果が持続する。

森町の生産者
佐野 和幸（さの かずゆき）さん

1984年、森町生まれ。米、レタス、トウモロコシを生産している。
趣味は、読書。農業や政治、環境などジャンルを問わずさまざまな分野の本を読む。健康に気を使い、特に和食を中心とした食生活を心掛け、日々の体調管理に努めている。

森営農センター
鶴見 祐介（つるみ ゆうすけ）

JAでは、森の土づくりセンターで作った堆肥の利用を生産者にすすめています。堆肥の利用は、化成肥料を減らし環境にやさしい農業を行なうことができるだけでなく、生産資材コストの負担を軽減させることができます。また、土壌分析は圃場を作る前には必ず行なうように指導し、おいしい農産物を安定的に生産できるよう、とにかく土づくりにこだわっています。

夏になると各地から買い求める方が多い「森のとうもろこし」は、森町の堆肥をレタスの圃場にまき、レタスの生産終了後に栄養分がたっぷり含まれた土壌でトウモロコシを栽培することで、実が大きく甘くておいしいトウモロコシを生産することができています。森町で行なう循環型農業は、持続可能なだけではなく、おいしい農産物を作るためにも必要不可欠です。

生産者の皆さんは、栽培カレンダーを使って部会を中心に情報交換をしながら、安定的な農業を行なう意識が高いです。そのおかげで計画的な生産・出荷ができて、販売先市場から高い評価をいただいています。また、JAと協力して農業を盛り上げようという気持ちが強く、いつも私を頼ってくれます。そんな皆さんに恩返しができるようにこれからも切磋琢磨しながら地域農業の発展に努めていきたいと思います。

このひとに聞く

近年、全国各地で地震や豪雨などの自然災害が相次ぎ、防災への関心がますます高まっています。そのような中、地域の安全と安心を守るために活動している人がいます。防災ショップの運営や防災についての講演やイベント活動を通じ防災意識の普及に力を注ぐ髙橋竜二さんに話を聞きました。

ククデココ企業組合　代表理事

髙橋（たかはし） 竜二（りゅうじ）さん

50歳　袋井市川会

1975（昭和50）年、袋井市生まれ。リラックス方法はマッサージや音楽鑑賞。スピリチュアルなことにも興味・関心があり、自身の生活や行動に取り入れている。

挑戦と表現の原点

私は袋井市で生まれ育ち、地元の小・中学校を卒業した後、親元を離れ、親戚の家に住み込みながら浜松市の高校に通いました。もともと誰もやっていないことに挑戦するのが好きで、進学先も周囲が選ばない道を選びました。高校時代は、当時まだ珍しかったダンスに取り組み、ボイストレーニングにも通って、歌手を目指していました。母も歌手を夢見ていたことがあり、私の挑戦を応援してくれました。歌手への道は厳しく断念しましたが、エンターテインメントに触れることで人と関わることや自分を表現することの大切さを学ぶことができて、自然に地域の活動にも関心を持つようになりました。

地域を守る責任

30代になると、地元の消防団に加入し分団長を経て、縁あって団長を務めさせていただきました。私が団長になった当時は、ちょうど袋井市消防団の転機であり、組織の立て直しを任されました。594人の団員の命を預かり、地域住民の生命と財産を守るという大きな使命にやりがいを感じていました。団長として一番大切にしていたのは「聞くこと」です。一団員、一市民の声をしっかり聞き、みんなの意見を集めて、より良い方向に決断していくことが重要だと考えていました。印象的だったのは、消防団の式典当日に管内で火災が発生したことです。火災の状況を瞬時に判断して、方面隊ごとに分けて迅速に対応し、1時間遅れで式典を開催しました。「火災があった日に式典をやるのか」との批判もあったかもしれませんが、消防団として式典も大切な役割だと考え、決断しました。消防団長として火災や救助の現場を指揮した経験を重ねる中で、災害はいつ起こるか分からないという現実を肌で感じ、普段からの備えや防災意識の大切さを強く実感するようになりました。

防災への想いを形に

消防団長として火災や救助の現場を指揮した経験を生かしたいという想いから、危機意識を共有できる仲間が集まり、2019年に「ククデココ企業組合」を設立しました。そして2025年8月には磐田市岩井に防災ショップもオープンしました。店舗の敷地内には雨水ろ過装置や防災用トイレ、電源供給システムを設置し、災害時に対応できる工夫をしています。また、リラクゼーション業者さんにも建物の一部を貸し出し、災害時にも人と人がつながることができる場所を目指しています。ククデココのメンバーには元自衛隊員や薬剤師など、多様な職業の方が集まっています。さまざまな経験と知識を生かして、災害時にストレスの少ない生活を多方面から提案できればと考えています。

「地震はいつ起こるか分からない」とよく口にしますが、本当に意識して備えているでしょうか。私は、災害が起きても皆さんがストレスなく生活できるようにしたいという想いで活動しています。災害は私たちから多くのものを容赦なく奪っていきます。一番の防災は安全な場所に住むことですが、住む場所を簡単に変えることはできません。だからこそ、普段から「あるもの」に目を向けて備えることが大切です。日常でできないことは、災害時にはできません。シミュレーションや準備をしておくことが何よりも大切です。車に荷物を積んでおく、避難場所を普段から考えておくなど、※フェーズフリーの考え方を持ち、日常の延長で防災を意識することが大切です。特に、今の子どもたちは便利な生活に慣れている分、災害時には弱いと感じています。物のない生活を体験したり、防災グッズを実際に使ったり、非常食を日常から食べてみてほしいです。

自治会の方々も防災グッズを購入しに来てくれますが、使い方が分からなければ意味がありません。ですから、ショップでは実演しながら購入してもらっています。今後も講演やイベントを通じて、皆さんの防災意識向上に貢献したいと思っています。

備えをしていく大切さ

南海トラフ地震の被害が想定されている静岡県では、防災は決して他人事ではありません。まだまだ備えへの意識は十分とは言えません。私たちは防災グッズを提供したり、講演やイベントを通じて防災の大切さを伝えています。いざという時に皆さんの助けになれるよう、これからも活動を続けていきます。日常の中で防災を意識し、備えを進めていくことが、地域の安全と安心につながると信じています。

今後も皆さんと一緒に、災害に強い地域づくりを目指していきたいと思います。

日常生活に防災を

みんなで生きる

活用されている雨水ろ過装置

災害時に有効な防災フェンス

ククデココ防災ショップと看板

※フェーズフリー…平常時と非常時の区別をなくし、普段使っているものやサービスをそのまま「もしも」の時に役立てることで特別な準備をしなくても防災につながる考え方

消防団長として現場を指揮

農で輝く人

杉本（すぎもと） 寛登（ひろと）さん

栽培品目 ―― 茶、レタス

「PROFILE」24歳　森町中川
2001年、森町生まれ。趣味は祭りの笛の練習。2歳の息子と外で遊んだり、散歩をすることが仕事の気分転換になっている。

森町の農業を通じて人とのつながりを大切に

ベテラン2人の背中を見て

地元の企業でサラリーマンをしていましたが、祖父が農業を営んでいたこともあり、2024年に就農しました。

子どもの頃から農業には親しみがあり、いつかは挑戦したいと思っていました。実際に経験してみると、日々変化する天気や気候に左右される環境の中で、安定的に生産することの難しさに圧倒されました。祖父や叔父に教えてもらいながら取り組んでいますが、2人の仕事の速さや先を読む力は素晴らしいと感じています。私も経験を積んで、いつかは尊敬する2人のようになっていきたいと思っています。日々、話し合いながら協力して農業ができる環境に感謝しています。

また、自分が作った農産物を食べておいしいと言ってくれる人の笑顔にも励まされ、就農してよかったと思っています。

農業を楽しみたい

青年部の活動では、「森町農業小学校」という企画を1年通して行なっています。題して「よくばり農業小学校」。サツマイモやエダマメ、スイカの栽培から収穫までを行ない、最終回はみんなで餅つきを楽しみます。親子合わせて100人以上と、とても多くの方が参加してくれています。子どもたちに教えるのはとても難しいですが、みんな楽しそうに体験してくれています。

青年部の先輩方には日頃からお世話になっていて、他愛ない会話から栽培のアドバイスなど、親身になってくれます。農業を通したつながりも私にとってはかけがえのないものです。今後も青年部で行なうイベントには積極的に参加し、交流を深めていきたいです。

これからも農業を楽しみながら、伝統ある技術を守り継承し、次世代へとつないでいきます。

わっ！女性部

加工グループのこれからに向けて交流会を開催！

10月10日、JA袋井支店の会議室で加工グループ交流会を開催し、参加者41人が集まりました。

袋井支部・浅羽支部・天竜支部それぞれから、ゴボウ味噌やふわふわ（お菓子）、鶏ハム、海老芋コロッケなど自慢の商品が紹介され、試食をしながら交流しました。

加工グループでは、新しい仲間を募集しています！

興味のある方は、各女性部事務局までご連絡ください。

交流会終了後の販売会の様子

支部活動 森町支部

もりもり倶楽部 みそまん講習会

森町女性部は10月14日、JA森町ふれあい工房でみそまん講習会を行ない、37人が参加しました。

講師には、浅羽支部のときめきお助け隊の寺田芳子さんを招きました！浅羽のみそまんは白あんで、森町とは違うところや、作り方を丁寧に教えてくれました。

出来立てあつあつのみそまんを試食して幸せな笑顔が溢れました♪

みそまんを作る参加者

SDGsと女性部

12 つくる責任 つかう責任

子どもたちと豆腐作りに挑戦！

竜洋女性部は11月7日、竜洋東小学校3年生14人と父兄のボランティアと一緒に豆腐作りを行ないました。

子どもたちは大豆から豆腐ができるまでを楽しく体験しました。豆腐を作る過程でできたおからは、子どもたちが持ち帰り家庭で味わいました。
最後まで無駄なく使うことができました♪

子どもたちに説明する女性部員

このページや女性部に関するお問合わせ
営農企画課　☎0538-36-7014

私の女性部エピソード！

新年を華やかに迎えよう

女性部の講師として5年ほど前から、正月に飾るフラワーアレンジメントを教えています。菊やカーネーション、バラなど、どれもファーマーズマーケットや自宅の庭で簡単に手に入る身近な花を使い、安くても豪華に見えるのがポイントです。カスミ草を使うとより華やかになり、松や折り紙で作った鶴なども正月らしさを演出します。

見本を見ながら自分で配置を決めたり、茎の長さを調整して高さを変えてみたり、それぞれ個性豊かな作品を作っています。

一人で作ると大変ですが、みんなで話し合いながら作業するのがとても楽しいですね。毎年恒例の機会を大切にしていきたいです。

磐田支部
馬渕（まぶち） 富美子（ふみこ）さん

シュンギクのトンネル栽培

品種の使い分けに留意

シュンギクの生育適温は15～20度と冷涼な気候を好み、一般には春（3～5月）と秋（9～11月）が栽培適期ですが、早春まきのトンネル栽培では春から初夏の収穫を楽しめます。

【品種】 シュンギクの種類は、葉の大きさや切り込みの入り方により実用品種では中葉種と大葉種に大別されます。中葉種は切り込みがあり、香りが強く、摘み取り栽培に適した節間の伸びやすい品種（株立ち型）では、「さとゆたか」（サカタのタネ）、「きわめ中葉春菊」（タキイ種苗）などがあります。抜き取り栽培に適した側枝の発生の多い品種（株張り型）では、「さとにしき」（サカタのタネ）、「菊次郎」（タキイ種苗）などがあります。

大葉種は葉が大きく厚みがあり、切り込みは浅く、苦さが少ない品種で、「菊之助」（タキイ種苗）、「おたふく春菊」（中原採種場）などがあります。

【畑の準備】 種まき2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gを散布し、深く耕しておきます。

1週間前に化成肥料（NPK各成分10％）100gと完熟堆肥1、2kgを散布して土と混ぜ、ベッド幅70～80cmとし、高さ5cm程度の平畝を作ります。

【種まき】 条間20cm、深さ1cm程度の浅いまき溝を3条作り、約1cm間隔で種まきします（図1）。好光性種子のため、覆土はごく薄くかけます。種まき後、十分に灌水（かんすい）し、発芽まで乾燥させないように注意します。種まき後にトンネル被覆して、中に幼苗を保護するための不織布をべたがけすると良いでしょう。

【トンネル被覆と換気】 中間地や暖地の2、3月ごろはまだ夜温は低いですが、昼間のトンネル内は高くなるため、本葉1、2枚の頃から換気を開始します。フィルムの裾を開閉する方法、フィルムに穴を開ける方法、穴開きフィルムを使う方法があります（図2）。生育後半にトンネル内の茎葉が繁茂する頃にはトンネルを除きます。

【間引き・追肥】 発芽後、本葉2枚の頃3、4cm間隔に間引き、株元に軽く土寄せします。この後、本葉5、6枚の頃に、株立ち型で10～15cm、株張り型で10cm間隔に間引き、1平方m当たり化成肥料50gを株元にばらまき、土寄せします。

【収穫】 中葉種の株立ち型は、草丈が25～30cm程度になったら、葉4、5枚を残し、摘み取り収穫します。以後、伸びてきた脇芽の葉を2、3枚残して切り取ります（図3）。中葉種の株張り型と大葉種では、草丈が20～25cm程度に育ってきたら、株ごと抜き取り、または株元から刈り取って収穫します（図4）。なお、このトンネル栽培では晩春になると長日・高温の気象条件からとう立ち・開花が早くなり、長い期間の収穫はできません。

園芸研究家●成松次郎

図1　種まき

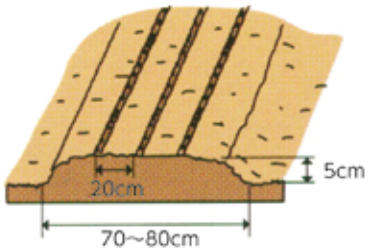


図2　トンネル被覆（穴開きフィルム）

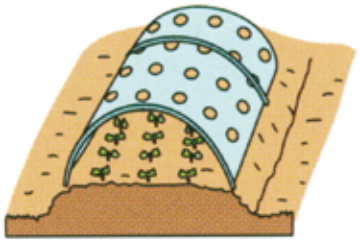


図3　摘み取り収穫

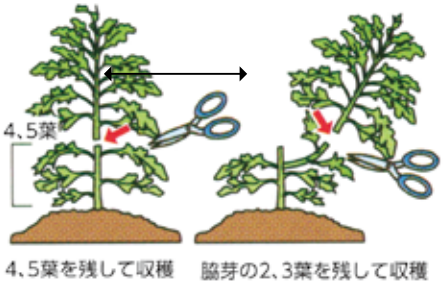
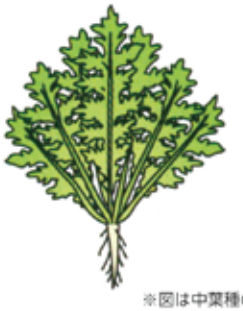
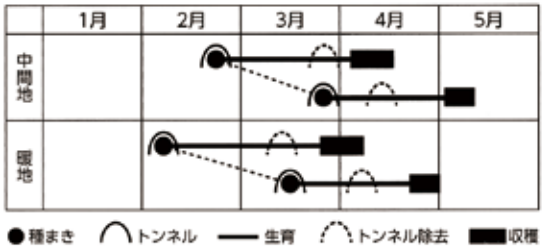


図4　抜き取り収穫
（中葉種の株張り型と大葉種）



※図は中葉種の株張り型

栽培カレンダー（シュンギクのトンネル栽培）



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

どっさりキッチン

冬にぴったり

うまみたっぷり肉豆腐

材　料　（4人前）

- 牛薄切り肉 …… 250g
- マイタケ …… 100g
- シイタケ …… 60g
- オクラ …… 2本
- 塩 …… 少々
- タマネギ …… 300g
- 豆腐 …… 1丁
- Ⓐ しょう油 …… 大さじ3
- Ⓐ 酒 …… 大さじ3
- Ⓐ みりん …… 大さじ3
- Ⓐ 砂糖 …… 大さじ2
- Ⓐ 水 …… 100㎖

作り方

1. 牛薄切り肉をボウルに入れ、食べやすい大きさに切ったマイタケと合わせる。
2. シイタケは軸を切り落とし、かさの中央に向かって十字に飾り切りする。
3. オクラのヘタとガクを取って塩を振り、板ずりにして、さっとゆでる。
4. タマネギを８等分のくし切りにして、Ⓐと一緒に鍋に入れて煮る。
5. ④に①の牛薄切り肉を１枚ずつ入れ、色が変わったら皿に取り出す。
6. 一口大に切った豆腐を入れ、①のマイタケと②を乗せて煮る。キノコ類がしっとりしてきたら⑤を戻して味を染みこませる。
7. お皿に盛り付けて③を飾ったら出来上がり。

JAのホームページ内「Let's Cooking」にも多数のレシピ掲載中！

牛肉とマイタケを合わせておくことで肉がやわらかくなります！

女性部（袋井支部）
近藤（こんどう） 眞由美（まゆみ） さん

旬の農畜産物

遠州袋井牛

2022年に浅羽地区の若手肉牛農家3軒で立ち上げた地域ブランドです。

「遠州袋井牛」取り扱い店

- エブリィビッグデー 袋井店、磐田店、ららぽーと磐田店
- ピアゴ 袋井店

ほか

Aコープ豊田中央店でも販売中！

TOPICS

管内各地で農協祭 多数の来場者で盛況

実りの喜びを地域の皆さんと共有しようと、11・12月にＪＡ管内各地で農協祭などのイベントを開きました。

地域ごとにさまざまな趣向が凝らされ、地元の特産品や新鮮な旬の農産物、おいしいものなどを求めて、会場は各地から大勢の来場客でにぎわい、「農と食」の魅力を伝える機会となりました。

生産者部会や青年部、女性部の出店でも活気が溢れ、日頃の活動をＰＲすることができました。

青年部によるサツマイモスティック販売
（11/16　もりもり２万人まつり＆農協祭）

女性部によるおしるこ販売
（11/3　天竜地区農協祭）

磐田市産の白ネギ袋詰め
（12/6　いわた農業まつり）

餅まきで盛り上がる会場
（11/15　袋井農協祭）

地域の話題満載！！ ときめきトピックス

10・11月
OCTBER・NOVEMBER

TOPICS

建物更生共済の説明をするＪＡ職員㊧

地域の防犯力向上セミナー開催

ＪＡ東部店は10月17日、地域の防犯・防災意識を高めようと「地域の防犯力向上セミナー」を磐田市の田原交流センターで開きました。ＪＡ組合員のほか、地域住民など約50人が参加しました。

本セミナーは、近年頻発する組織的凶悪犯罪や台風などの自然災害が起こる中、安全安心な生活環境維持のため、ＪＡと地域が共助することを目的としています。

TOPICS

小学生に柿を説明する伊藤さん

柿生産者が地元小学校で授業

磐田市豊岡地区で柿を生産するＪＡ敷地柿組合の伊藤賢さん（50）は10月２日、同市立豊岡北小学校で授業を行ない、３年生約40人が特産の次郎柿について理解を深めました。

伊藤さんは「柿を知ろう！」と題したスライドを使い、種類や産地、年間の栽培の流れなどを説明。クイズや漫画を交えながら、児童らに分かりやすく伝えました。

TOPICS

キャベツ狩りを楽しむ参加者ら

キャベツ狩り選手権

ＪＡ豊田青年部は11月15日、磐田市で生産量が増えているキャベツをＰＲしようと「キャベツ狩り選手権」と題したイベントを同市で開きました。

2025年で９回目となる同イベントには、家族や友人同士のチームなど、過去最多となる応募数92組の中から抽選で選ばれた40組160人が参加しました。

＼インスタグラムでも見てね／

TOPICS

サツマイモを収穫する参加者

ＪＡ事業利用者がサツマイモの収穫体験

ＪＡは磐田市で11月１日、住宅ローンとこども共済いずれかの契約者家族を対象に「さつまいも(べにはるか)秋の収穫体験」を行ないました。

今回、応募した50組179人が参加し、サツマイモの収穫を体験しました。参加した親子は畑から大きく育った「べにはるか」を「大きいおイモだ。まだまだ出てくる」と笑顔で掘り起こしました。

TOPICS

ダイコンを贈呈する佐野委員長

子ども食堂へダイコンを贈呈

11月27日、ＪＡ森支店の佐野喜治運営委員長が、森町の「周智子ども食堂モリモリキッチン」を訪れ、同支店の運営委員と経営管理委員、計15人が育てたダイコン20本を贈呈しました。

今回の贈呈は、ＪＡのなかまづくり活動の一環として行なわれたもので、今後は地元の幼稚園児や小学生と一緒に収穫体験も予定しています。

TOPICS

海老芋を品評する審査員

海老芋品評会

ＪＡは11月21日、磐田市の園芸流通センターで、ＪＡ海老芋（えびいも）部会が生産する2025年産の海老芋の中から、特に優れたものを選ぶ品評会を開きました。

審査の結果、豊岡支部の大隅敏邦さんが最高位の優秀賞に輝きました。

その他に金賞２点、銀賞２点、銅賞２点がそれぞれ選ばれました。

iinfo 旧福田南支店ATMの廃止について

長年にわたりご利用いただいておりました下記ATMを廃止させていただくこととなりました。

廃止に伴いご利用の皆さまには大変ご不便をおかけしますが、最寄りの支店ATM、または提携金融機関ATMなどをご利用いただきますようお願いします。

廃止するATM　旧福田南支店ATM
最終営業日　2026年5月30日(土)午後5時

お問合わせ　福田支店　☎0538-55-3141

iinfo 農機センター営業日変更について

JA遠中サービスの農機センターの営業日が変更になります。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【変更日】2026年1月10日(土)～

期　間	定　休　日
4月～11月	日曜日 ※農繁期(4月～6月、8月～10月)は営業
12月～3月	土曜日・日曜日

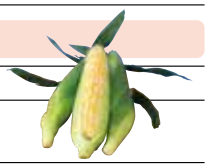
※定休日は留守番電話での対応になります。

お問合わせ　ジェイエイ遠中サービス本社　☎0538-36-7022

募集 農産物のオーナーになりませんか？

毎年行なっている農産物オーナー制度。今回は①「海老芋」、②「トウモロコシ」の収穫体験ができるオーナーをそれぞれ募集します。体験を通じて楽しみながら、地元の農業や農産物を応援してみませんか？

共通項目	
募集対象者	JA遠州中央管内(袋井市・磐田市・浜松市天竜区・森町)にお住まいの当JA准組合員および家族限定 ※准組合員加入予定者を含む
募集期間	1月19日(月)～3月31日(火)　申込みは先着順とさせていただきます。
体験について	・栽培管理は生産者が行ないます。体験は午前9時から1時間程度になります。 ・体験時期は目安になります。天候・生育状況を確認し、改めてご案内します。 ・収穫に来られない場合は、生産者が収穫し、指定した場所での受け渡しか配送となります。(配送料はオーナー負担になります)



	①海老芋	②トウモロコシ
収穫場所	磐田市(広瀬地区)	磐田市(南部地区)
体験時期	・4月25日(土)(定植)　・6月6日(土)(葉かき) ・6月27日(土)(土寄せ)　・11月7日(土)(収穫)	・5月10日(日)(定植) ・8月2日(日)(収穫)
募集口数	15口(1口=8株の植え付け)　1家族2口まで	10口(1口=10株の植え付け)　1家族2口まで
会費	1口　10,000円　1口あたり8kgを補償	1口　3,500円　1口あたり10本の収穫補償

今後、柑橘(片山ミカン・ポンカン)やサツマイモなど他の農産物オーナーも募集予定です。内容が決まりましたら広報誌やチラシなどでご案内します。

お問合わせ お申込み
営農企画課　担当／鈴木(すずき) 康史(やすふみ)　☎ 0538-36-7014　✉ESINKO@enchu.ja-shizuoka.or.jp
電話またはメールにて受け付けます。①農産物名②氏名(フリガナ)③住所④電話番号⑤申込み口数⑥参加予定人数⑦組合員資格の有無を記載の上、お申込みください。

募集 第20期「いちじくウェルカム講座」

「西部共計いちじく産地協議会」では、産地の維持・拡大を目指し、新規担い手の育成や遊休地の有効活用を図っています。

講座では、イチジク栽培の説明や園地見学を計画し、2027年からの開園に向けて準備をしていきます。本格的なイチジク栽培を一緒に目指しませんか？

受講対象者	・会社を退職された方、本格的なイチジク栽培を目指す方など ・袋井市、磐田市、浜松市天竜区、森町にお住まいの方 ※JAの生産者部会加入を前提とするため、家庭菜園規模の方はご遠慮ください。
年間スケジュール	第1回／オリエンテーション 第2～4回／講義・園地見学 第5回／挿し木方法について 11～1月／受講者園地巡回
参加費	無料
申込み期日	2026年3月27日(金)

お問合わせ・お申込み
袋井営農センター　☎ 0538-48-6636
磐田営農センター　☎ 0538-36-7204
園芸課　☎ 0538-36-7018

募集 はじめての農業講座

pokka sapporo　JA遠州中央

レモン栽培を学んでみませんか？レモンの活用方法も学べるチャンス！ぜひお気軽にご参加ください！

開催日時	2026年2月14日(土) 10:00～12:00
講座内容	レモン栽培講座
講師	ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、JA職員
会場	JA本店
対象者	農業に興味のある方 レモン栽培や活用方法について知りたい方
募集人数	60名(お申込み多数の場合抽選)
受講料	1人　1,000円 ※お申込みは参加される方ごとにお願いします。
その他	希望される方に後日、レモンの苗木を配布します。
募集締切	2026年1月25日(日)

お問合わせ・お申込み
右記QRコードよりご応募ください。
総合企画課　担当／中村
✉KIKAKU@enchu.ja-shizuoka.or.jp

Googleフォームからのご応募はこちら▼

経営管理委員会だより

2025年度10月期・11月期経営管理委員会を、それぞれ本店役員会議室で開催しました。

●10月期

日　　時　令和7年10月28日(火)

決議事項　なし

報告事項　24項目

【主な報告事項】

●ＪＡ自動車共済掛金率変更について

JA自動車共済の掛金水準は、損害保険会社の約6割と低い水準で運営してまいりましたが、修理費の高騰などにより、令和8年1月始期契約より掛金を引き上げます。今後も、組合員・利用者の皆さまに、より良い保障とサービスを提供してまいります。

●11月期

日　　時　令和7年11月26日(水)

決議事項　なし

報告事項　9項目

【主な報告事項】

●組合員座談会の開催結果について

10月30日から11月13日まで延べ8日間、30会場にて開催しました。いただいたご意見等は、今後の農協運営や次年度事業計画へつなげていきます。

ご意見等は、2・3月号の広報誌で報告していきます。

募集

遠州発バスツアー！協同組合を巡る旅

協同組合を巡るバスツアーを開催します！
たくさんの体験、魅力があなたを待っていますよ♪
ぜひご参加ください！

開催日時	2026年2月20日(金) 出発 8:30　到着 17:00　予定
内　　容	協同組合とは？,お米食べ比べ,森林組合の役割について,お茶の飲み比べ,昼食(お弁当)付き,おたのしみお土産付き
発着場所	JA香りの丘茶ピア　袋井市岡崎7157-1
対 象 者	組合員または組合員と同居の家族
募集人数	40名(お申込み多数の場合抽選)
参 加 費	1人　1,000円　※お申込みは参加される方ごとにお願いします。
募集締切	2026年1月20日(火)

お問合わせ・お申込み

右記QRコードよりご応募ください。
総合企画課　担当／中村
KIKAKU@enchu.ja-shizuoka.or.jp

Googleフォームからのご応募はこちら▶

※この事業は、JA共済 地域・農業活性化促進助成金を活用しています。

募集

原木シイタケの収穫体験 完全予約制

今シーズンも袋井市のJA香りの丘 茶ピアでは、原木生シイタケの収穫体験を期間限定で行なっています。

場　　所	JA香りの丘茶ピア敷地内 ※茶ピア直売所で受付をします。
期　　間	3月下旬までの毎週火曜日を除く全日(完全予約制) ※生育状況によって期間が短くなる場合があります。
体 験 料	1,500円(税込)　お土産付き

※シイタケはお持ち帰りできますが、取り放題ではありません。
※雨天、荒天時のほか、シイタケの生育状況により中止となる場合があります。

予約お問合わせ　**茶ピア直売所**　☎ 0538-44-1900
袋井市岡崎7157-1　営業時間9:00～16:30(火曜日定休)

告知

税務相談会のお知らせ

〈2026年2月〉

開催日	開催場所	開催時間	電話番号
2月4日(水)・18日(水)・25日(水)	袋井支店内開発センター	9:00～12:00 13:00～16:00	0538-42-4122
2月10日(火)・24日(火)	森支店	9:00～15:00	0538-85-3030
2月18日(水)	於保天竜支店	9:00～12:00	0538-32-3202
2月25日(水)	福田支店	9:00～12:00	0538-55-3141

〈2026年3月〉

開催日	開催場所	開催時間	電話番号
3月 4 日(水)	天竜支店	9:00～12:00	053-925-4181
	広瀬支店	13:00～16:00	0539-62-2012
3月4日(水)・11日(水)・25日(水)	袋井支店内開発センター	9:00～12:00 13:00～16:00	0538-42-4122
3月10日(火)・24日(火)	森支店	9:00～15:00	0538-85-3030

※税理士の都合により開催日、場所、時間が変更となる場合があります。ご希望の方は、必ず事前に開催場所までご連絡をお願いいたします。

組合員の皆さまへ

店舗統廃合および店舗移転のお知らせ

下記のとおり金融店舗の再編に伴う店舗統廃合および新店舗建設による移転を、同日に実施することとなりました。ご利用の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後も地域の皆さまのお役に立てるよう、役職員一同、より一層努力してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

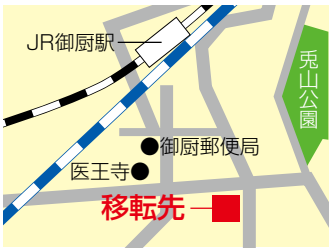
廃止店舗
西貝支店
磐田市西貝塚2116　☎0538−37−7227

継承店舗
見付支店
磐田市見付1273−1
☎0538−32−7251

・見付支店の営業時間は9：00〜15：00で、これまでと変更はございません。
・西貝支店に設置しております精米機およびATMは、これまで同様にご利用いただけます。

移転対象店舗
磐田市鎌田743−5
東部支店　☎0538−35−1651
東部店（営農経済）　☎0538−35−1860

移転先
磐田市鎌田第一土地区画整理組合仮換地53街区1
※両店舗とも電話番号の変更はありません。



・東部支店および東部店の営業時間は、これまでと変更はございません。
・ライスセンターおよび精米機につきましては移設を行なわず、これまでどおり現在の場所でご利用いただけます。
・ATMは新店舗へ移設いたします。

営業終了日／令和8年2月20日（金）　移転日／令和8年2月24日（火）

当JA職員などが、店舗統廃合等を理由に、キャッシュカードや通帳などをお預かりすることや、暗証番号をお聞きすることは一切ありませんので、ご注意いただきますようお願いします。

いきいき健康クリニック

カルテ No.243

シニアの「低栄養」、あなたは大丈夫ですか?

JA静岡厚生連
遠州病院
健康管理センター　管理栄養士
笹本 真実さん
お問合わせ
遠州病院 ☎053-453-1111㈹

低栄養とは必要なエネルギー（kcal）や栄養素が不足している状態で、放っておくと筋量の減少などが起こり、要介護状態になったり死亡率を高めたりしてしまいます。現在、食事量や身体活動量が減っている方は、特に低栄養に陥りやすいので注意が必要です。低栄養は体重や筋肉量などで判定しますが、まずは健診結果の「BMI（体格指数）」欄を確認してみましょう。BMIが69歳以下の方は18.5未満、70歳以上の方は20未満であれば「低栄養の傾向あり」に該当します。65歳以上の男性の12.2%、女性の22.4%に低栄養の傾向がみられており、実は低栄養の一歩手前の状態は珍しいことではありません。

対策は「食事」と「運動」で、早期から行なうことが大切です。

食事は、1日3食きちんと食べましょう。食事回数が減るだけで、エネルギーやたんぱく質などの必要な栄養素を十分に取ることが難しくなります。そのうち少なくとも2食は主食・主菜・副菜を揃えた食事にすることで、自然と栄養バランスが整っていきます。

他には普段の食事への“ちょい足し”がおすすめです。例えば魚不足の方はサラダにツナ缶を加えたり、海藻類不足の方は白米をわかめご飯にしたりすると、不足している栄養素を補うことが出来ます。また、焼き芋やチーズなどをおやつで食べるのも、補うためのひとつの方法です。

運動は、ウォーキングやスクワットなどの筋トレがおすすめです。地域の運動教室に参加して体を動かすのも良いでしょう。

これからは定期的に体重を測定して体重変化を確認して、「痩せすぎ」や「低栄養」を意識して食習慣や生活習慣を見直していってください。

※持病がある方は食事や運動については主治医へ相談してください。

参考文献
きょうの健康　2025.8

health　care

貯めてうれしい！ もらってうれしい！

定期貯金
プレミアムセレクト

［取扱期間］令和7年11月17日(月)▶令和8年2月27日(金)

ニューマネー限定

選べる2つのコースをご用意いたしました!!

優遇金利コース

ご契約金額 10万円以上

期間中の契約金額、契約本数に上限なし

適用金利 年1.00%（税引後 年0.79%）

1契約2,000万円以上の方は

さらに 年0.10%上乗せ!!

金利＋お米コース

ご契約金額 100万円以上

（取扱期間中 月単位でお1人様 毎月500万円まで）

地産地消

遠中コシヒカリ 5kg

※お米については100万円につき5kg進呈

＋

適用金利 年0.50%（税引後 年0.398%）

期間 1年自動継続

募集金額 80億円（うち金利＋お米コースは30億円）

ご利用いただける方 当JAの組合員または組合員と同居の家族（契約時に組合員加入した方含む）

※当JA以外からのお振込み、現金入金等は1か月以内にお預け入れ資金に限ります。
※中途解約された場合、当JA所定の中途解約利率が適用されます。
※利息に 20.315%（国税 15.315%、地方税 5%）が分離課税されます。
※既に当JAにお預けいただいている普通貯金・定期貯金等から本商品に切りかえることはできません。
※「プレミアムセレクト」の商品内容は、お近くの支店窓口までお問合せください。
※金利環境の変化等により適用金利変更となる場合や取扱いを中止させていただく場合があります。
※募集金額に達した場合は販売を終了させていただく場合があります。

詳しくはお近くのJA遠州中央支店窓口までお気軽におたずねください。

ときめきネットワーク JA遠州中央

各種ローンのご相談は　JA Instagram　JA 公式LINE

おたより掲示板

2025年8・9月号に寄せられた一部を紹介します。

こどもの絵カレンダー

袋井市　安西 ときわさん

毎年届く「こどもの絵カレンダー」は親しみを感じて、一日一日を大切に過ごそうと思えます。今年も楽しみにしています。

JA◆今年のカレンダーも子どもたちの素晴らしい絵のおかげで華やかですよね！楽しみにしていただけてうれしいです♪

楽しい家庭菜園

浜松市　坂口 幹雄さん

昨年も酷暑で野菜がうまく収穫できず苦戦していますが、楽しい家庭菜園などに目を通して野菜作りを楽しんでいます。JAの直売所で売られている野菜を見ると、農家の皆さんの職人技に圧倒されるばかりです。

暑さに負けず

磐田市　西尾 一子さん

昨年は特に猛暑でした。日中の暑い中農業をしている人は大変でしたね。暑さに負けず、米や野菜、果物など頑張って作っている農家の皆さまに食事の度に感謝しています。

おたよりありがとうございました。

さくらご飯

森町　大石 博久さん

米の保存方法がとても役に立ちました。さくらご飯がとても懐かしく、食べたくなったので家で作りました。おいしくいただきました。

いつもありがとう

袋井市　髙橋 清さん

JAの金融窓口の皆さんがいつも明るく親切で本当に気持ちが良いです。JAへ行くのが楽しみになります。いつも丁寧な対応ありがとう！

米の消費量日本一

浜松市　井畑 貞子さん

米の消費量が静岡県は多いことがわかり、とても誇らしく思いました。米農家さんが頑張っていてくれているので、日本人はもっと米をたくさん食べてほしいなと思います。

興味深いです

磐田市　天野 洋子さん

特集の「静岡県民は米が好き」を興味深く読みました。自分自身を振り返ってみても、その通りだと思います。

JA◆私も米は大好きです。JAのFMや農産物直売所にはいろいろな種類の米を販売しています。食べ比べてみてください。

ここで一首！

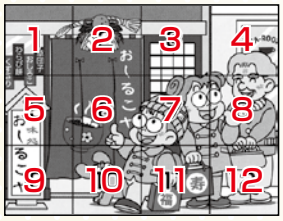
徒歩5分
近くのお宮で
初詣

森町　服部 裕子さん

まちがい探し

5つの間違いを探そう！

2つのイラストにまちがいが5カ所あります。
まちがいのある部分を枠内の数字で答えてください。抽選でプレゼントが当たります。



出題・イラスト・酒井栄子

ご応募は、ハガキまたはeメールにて①**まちがい部分の数字**、②**郵便番号・住所**、③**氏名(フリガナ)**、④**年齢**、⑤**電話番号**、⑥**JAへのご意見・おたより**を書いて送ってね！

●応募先／ハガキ　▶▶〒438-0086 磐田市見付3599-1　JA遠州中央 広報課
eメール　▶▶KOHO@enchu.ja-shizuoka.or.jp
件名：広報誌プレゼント応募

●〆切／2026年1月末（当日消印有効）

★当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

※おたよりの内容は、広報誌およびホームページ掲載のほか、JA遠州中央の広報活動以外には使用しません。
※右記を読み取ってもメール送信画面が起動しない場合は、メールアドレスをコピーしてお使いください。

今回のプレゼントはコレ!!

農産物詰め合わせ
10名様

※写真はイメージです。

メールはこちらから▼

8・9月号の解答　②…お月さまの目が違う　⑦…家が2階建てになっている　⑧…梨が柿に変わっている　⑨…茶わんの形が違う　⑪…鼻にあんこが付いていない

TOKIMEKI SMILE
地域の笑顔 ときすま

（磐田市福田）

安富 彩朔（やすとみ さつき）さん（男の子）
（令和2年9月15日生まれ）

安富 心椛（やすとみ いとは）さん（女の子）
（令和4年9月24日生まれ）

安富 衣柊（やすとみ えと）さん（女の子）
（令和6年10月24日生まれ）

3人仲良く元気に大きくなってね！
（父）光善さん　（母）菜摘さん

（袋井市松原）

堀尾 優愛来（ほりお ゆあら）さん（女の子）
（令和6年3月21日生まれ）

笑顔で元気に大きくなってね！
（父）匠摩さん　（母）芽衣さん

（袋井市大野）

井口 蓮月（いぐち はづき）さん（女の子）
（令和4年4月6日生まれ）

井口 琉紀也（いぐち るきや）さん（男の子）
（令和5年12月2日生まれ）

すくすく元気に育ってね！
（父）諒也さん　（母）菜津紀さん

ステキな笑顔募集中！

お子さま以外もOKです！

JA 遠州中央管内（袋井市・磐田市・浜松市天竜区・森町）在住で、日中の撮影が可能な方。下記の内容を記載の上、メールまたはお取引先の支店窓口までご応募ください。掲載者の年齢は問いません。お子さま以外のご応募もお待ちしています。

応募者　①氏名　②生年月日　③住所　④電話番号
※未成年の場合は、保護者の方からお申込みください。

応募先　KOHO@enchu.ja-shizuoka.or.jp

※広報課の職員が撮影にお邪魔します。
※２年以内にご家族が掲載されている場合は、応募をご遠慮いただいています。

●編集後記

◎新年おめでとうございます。今年の目標は本をたくさん読むことです。大学で文芸学を専攻していたため本に触れる機会が多かったのですが、社会人になって忙しさから本を読む時間が減りました。読みたい本がたくさんあってつい買ってしまうのですが、今は本棚に積み重なっています。（M）

◎本年もよろしくお願いします。昨年は娘と一緒に静岡SSUボニータを応援しながら、たくさんの喜びと感動を共有できた1年でした。家族で同じチームを応援する時間は、とても素晴らしいものでした。今年もボニータの飛躍を期待し変わらず声援を届けます。頑張れボニータ！（S）

◎あけましておめでとうございます。高校3年生の長男と中学3年生の長女は、二人とも今年度に受験する予定です。先日、妻から「親も何かにチャレンジしてみよう」と提案があり、考えた結果、今の仕事に関係する「PRプランナー」の試験にチャレンジしようと思っています。（M）

おいしいをつくりましょ。

ときめきネットワーク
JA遠州中央

JA遠州中央 検索

JAネットローンの
情報・仮申込はこちら▶

～ SNSで情報発信中 ～

JA遠州中央 Instagram
@enchu_gram

JA遠州中央 YouTube

JA遠州中央
LINE公式アカウント

ときめきネットワーク

2026年 新年号

vol. 331

［発行］ 遠州中央農業協同組合
〒438-0086 磐田市見付3599-1
TEL0538-36-7002　FAX0538-36-7101
［編集］ 広報課
TEL0538-36-7001　FAX0538-36-7101
［印刷］ 株式会社アプライズ

環境に優しいベジタブルインキを使用しています。